

お父さん、ありがとう

野口のぐち さくら

お父さんありがとう、ありがとうの言葉をいっぱい伝えたいけど、お父さんとの時間があまりありません。

私のお父さんは、私が三年生の時にがんになりました。私は、がんとは何か、よく分かりませんでした。でもお父さんは、がんと戦いながら、私の事はちゃんと見てくれました。元気な時は仕事、仕事と言っては休みなく働いて私や、お母さんのために一生けん命働いていました。そんなお父さんを見て、私は、お父さんは仕事だけが好きで、私や、お母さんの事はきらいなのかと思ったこともあり、でも四年生になってすぐに、お母さんが言いました。

「お父さんとの思い出作りにみんなで、お父さんの大好きな沖繩に行こう。」と言いました。沖繩に行った時のお父さんは、すごくやさしくいろいろな事をさせてくれました。自分の体もきついのに私にやさしくしてくれました。それからまた入退院をくりかえし、私が見ていても、つらそうでした。

九月になってお父さんがまた沖繩に行きたいと言って、沖繩に行きました。四月の沖繩とはちがってお父さんはあまり動くことが出来なくて熱が出て大変でした。

でも私の事はいろいろしてくれました。いろいろな物も買ってくれたりしました。

そして私の誕生日には、お父さんも初めてのケーキ作りをして私にたくさん愛情をくれました。ケーキは、ケーキ屋さんで買って食べるほうが楽だと思っていただけ、手作りケーキを手間をかけておいしくしてくれました。正月は、おすしを家で手作りしてみんなで食べて、楽しいお正月でした。

その間もお父さんの体は、がんに良い所を食べられていました。お父さんは、がんに体中、うめつくされています。夏休みも海には行けないから、映画なら行けると約束したけど、それも今は無理です。八月十日に退院した次の日にはまた病院に入院してしまいました。私はお父さんにしてあげられる事を探しては、実行しています。私はこんなにやさしいお父さんが大好きです。自分の事より私の事を気にかけて、いつも「さくら、さくら」と言ってくれるお父さん、これからお父さんにしてあげたい事がたくさんあります。でもそれも無理なんです。私が今できるのは、お父さんにありがとうの手紙や言葉で「ありがとう」を伝える事だと思います。

本当に私のお父さんでいてくれてありがとう！私を愛してくれてありがとう！

これからも私は心の中でお父さん本当にありがとうと言いたいです。いつ亡くなってもおかしくない今、一日でも長くがんばってね。

お父さんありがとう。大好きだよ！